

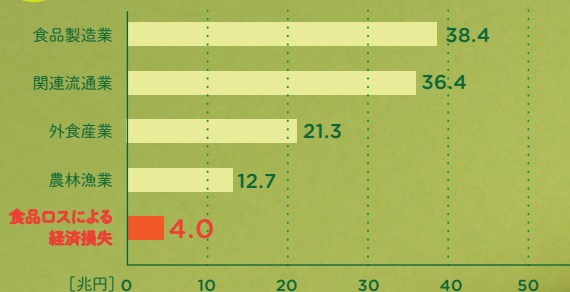
これまで、食品ロスは数量のみ推計の上公表していたところ、国民一人一人が食品ロス問題をより身近なこととして実感していただくため、2022年度食品ロス量推計値を基に経済損失及び温室効果ガス排出量を推計。

2022年度食品ロス量(472万トン)を基に推計した結果、食品ロスによる経済損失の合計は4.0兆円、食品ロスによる温室効果ガス排出量の合計は1,046万t-CO₂となった。

この推計値を国民一人あたり※1に換算すると経済損失は32,125円/人/年※2、温室効果ガス排出量は83kg-CO₂/人/年※3となった。

食品ロスによる経済損失及び温室効果ガス排出量の比較・イメージ

令和4年 農業・食料関連産業の市場規模(国内生産額)との比較



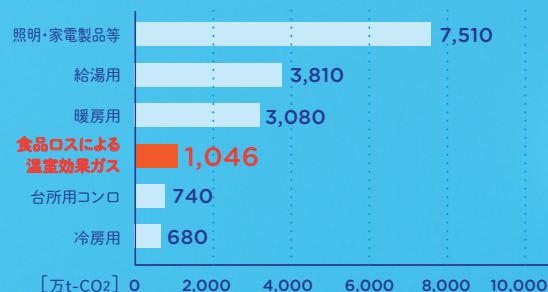
(出所)農林水産省
「令和4年農業・食料関連産業の経済計算(概算)」を基に作成

国民一人当たりの食品ロスによる
経済損失のイメージ

¥88/日/人

毎日、日本全体でおいざり
約1億個分のお金を失っている計算に!

令和4年 家庭部門の用途別CO₂排出量との比較



(出所)環境省
「2022年度(令和4年度)の温室効果ガス排出・吸収量」を基に作成

国民一人当たりの食品ロス削減による
CO₂削減効果イメージ

食品ロスを8%減らすと、
エアコン設定温度変更と
同等のCO₂削減効果

エアコン設定温度を27℃から28℃にした場合の
年間のCO₂削減効果を13%とした時の計算による。



27℃

28℃



※1 国民一人あたりは住民基本台帳の2023年1月1日時点の人口に対する値。 ※2 経済損失は各部門(事業部門・家庭部門)にまたがるものを合計したものであり、食品ロスの削減による経済上の利得が全て家計に裨益するものではない。

※3 温室効果ガス排出量は各部門にまたがるものを合計したものであり、食品ロスからの排出が全て家庭からの排出としてカウントされるものではない。